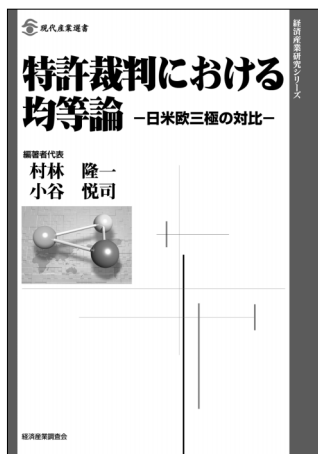


特許裁判における均等論

－ 日米欧三極の対比 －

編著者代表 村林 隆一 小谷 悦司



A5判 720頁
定 価 6,930円(税込)
送料実費

ボールスプライン最高裁判決により、我が国の裁判所において、今後、原則的均等論が容認されることが確認され、三つの積極的要件と二つの消極的要件が明らかにされた。これは、従来の裁判所の消極的態度ではなく積極的に均等が現行特許法第70条の技術的範囲内のものであることを明らかにしたものである。

そこで、ボールスプライン最高裁判決を中心として、日・米・欧の均等論の現状を確認し、将来を展望すべく日・米・欧の第一線で活躍されておられる学者・実務家の先生方による論考を一挙に収録した。本書は、上記判決並びに判決後の裁判所および学界の状況を全般的に俯瞰したものであり、一読して現在の状況を理解することができるよう総括したものである。

発 行 財団法人 経済産業調査会

本 部 〒104-0061 東京都中央区銀座2-8-9 (木挽館銀座ビル)

電話 03(3535)3051 FAX 03(3535)4884

近畿本部 〒540-0028 大阪市中央区常盤町2-2-11 TEL 06(6941)8971 FAX 06(6941)8992

中部支局 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-23 TEL 052(955)0635 FAX 052(971)6715

東北支局 〒980-0014 仙台市青葉区本町3-1-17 TEL 022(227)0978 FAX 022(223)5582

四国支局 〒760-0052 高松市瓦町1-9-9 TEL 087(862)6133 FAX 087(862)0477

中国支局 〒730-0017 広島市中区鉄砲町1-20 TEL 082(228)4911 FAX 082(211)1184

目次

第1編 総論

第1章	ボールスプライン最高裁判決が示した均等論適用要件の概略と問題点について	青木 高	
	小林 隆一	伊東 忠彦	
第2章	ボールスプライン最高裁判決が示した均等論適用要件の(1)と(2)の意義と今後の課題について	伊東 忠彦	
	小谷 悦司	尾崎 英男	
第3章	均等論適用要件(3)「置換容易性」について	小島 隆司	
	小松陽一郎	後藤 憲秋	
第4章	均等論適用要件(5)「適用除外事項」について	小松陽一郎	
	三枝 英二	三枝 英二	
第5章	日米均等論侵害比較	服部 健一	塩月 秀平
第6章	ドイツにおける均等論	ダニエル・スキューマ	設楽 隆一
第7章	むすび	小谷 悦司	設楽 隆一

第2編 各論

1	均等論と自由技術論	牛木 理一
2	均等論適用の要件	神谷 巖
3	最高裁判所第三小法廷平成10年2月24日判決	田中 成志
4	THK Co. v Tsubakimoto Seiko Co. - Infringement Case for Ball Spline Bearing	谷 義一
5	日本最高裁判所、均等論侵害の適用基準について判示	服部 健一
6	最高裁、CAFCオンパンク・フェスト判決を棄却クレームを減縮する補正があっても均等論は完全禁止になるのではなく、フレキシブルに適用されなければならない(速報)	服部 健一
7	均等論適用の要件	牧野 利秋
8	特許発明の本質的部分について	牧野 利秋
9	日米両国最高裁による、均等容認原判決破棄の判決が、日米の異なる特許制度の中で持つ意義	松居 祥二
10	他人の製品等が明細書の特許請求の範囲に記載された構成と均等なものとして特許発明の技術的範囲に属すると解すべき場合	三村 量一
11	特許発明の技術的範囲と均等	小林 隆一
12	均等要件のいくつかに関する特許委員会有志の考察	青木 高
13	最高裁「ボールスプライン」事件以後の均等の判例	伊東 忠彦
14	最高裁「ボールスプライン」事件以後最初に均等が認められた判例	伊東 忠彦
15	均等論についての日米の比較的考察	尾崎 英男
16	均等の適用要件	小島 隆司
17	特許発明の技術的範囲	後藤 憲秋
18	ボールスプライン最高裁判決後初めて均等論を理由に特許権侵害を認めた事例	小松陽一郎
19	徐放性ジクロフェナクナトリウム製剤事件	三枝 英二
20	技術的範囲と均等	塩月 秀平
21	ボールスプライン事件最高裁判決の均等論と今後の諸問題	設楽 隆一
22	ボールスプライン事件最高裁判決について	設楽 隆一
23	他人の製品等が明細書の特許請求の範囲に記載された構成と均等なものとして特許発明の技術的範囲に属すると解すべき場合	竹中 俊子
24	私説 均等論	服部 榮久
25	均等論適用に対する否認と抗弁に関する試論	服部 榮久
26	特許権侵害訴訟と裁判所の職責	松本 重敏
27	特許権侵害訴訟における均等判決例の研究	松本 重敏
28	均等	松本 重敏・小池 豊
29	均等論の動向	小谷 悦司
30	均等論	中山 信弘
31	均等論の要件	林田 力
32	最判平10・2・24の均等の要件を適用して初めて均等を認容した事例	本間 崇
33	均等論雑感	本間 崇

第3編 参考資料

ボールスプライン最高裁判決後の均等論が論じられた判決一覧

編著者略歴

きりとり線

申込書

特許裁判おける均等論 _____ 部注文します。

平成 年 月 日

郵便番号 _____ ご住所 _____

(ふりがな)

ご社名 _____

部課名 _____

ご担当者 _____ ☎電話 _____

(必ず明記して下さい)